

臨工連盟新聞

2017年
(平成29年)
冬季号

連盟躍進の年！



年頭所感



新年あけましておめでとうございます。家族団らんで穏やかな年越しを迎えられたこととお喜び申し上げます。いきなりで恐縮ですが、国家もしくは国を守る政治の命題とはなんでしょう？それは端的に言うところ「国民の命と生活を守ること」です。マスコミの報道やネットの書き込み、相手の上げ足を取り批判ばかりを繰り返す国会の議論を見ていると惑わされる場合がありますが、根本的な本質はそうではないかもしれません。社会保障や少子化対策、外交や安全保障、経済対策や税制改革等々、すべて根本を改めて見直した時、国民の意見を代弁する国会議員が、本心にそこに向かってベクトルを進めようとしているのか？それを見極める眼力が国民には必要だと感じます。また、我々はその働きから逸脱している人を裁く権利を有しています。なぜなら彼らを選

んだのは我々自身ですし、彼らの報酬は我々の税金から支払われているからです。すなわち、税金は我々の命と生活を守る代償として支払っていることとなります。

このことを踏まえたうえで、職能団体に目を向けてみましょう。職能団体の目的は自らの「専門職を守り育てる事」。命とまでは言わないにしても、役割はまさに国家と同等で、職能団体である臨床工

学技士会や連盟は臨床工学技士を守り育てるために活動する組織です。そして、そのために我々は会費を支払っています。すなわち、会費は臨床工学技士の職域と生活を守る代償なのです。少子高齢化を背景に税と社会保障の一体改革は待たない状況であることは国民の誰もが周知しています。医療・介護は医師や看護師だけでなく我々臨床工学技士を含めた医療技術専門職にも直撃する話題です。一般病棟の病床数の削減や透析患者数の減少などを考慮し、多くの増加は

見込めない税収の範囲内で、国民の命と生活を守る政策が次々と行われることは容易に想像できません。他の医療職能団体は昨年度の参議院選挙の結果が示す通り、積極的に国政へ参加し自らの職種を守るべく努力を重ねています。臨床工学技士が今の意識のままでは、今後ドラスティックに変化する医療業界からおそらく置いてきぼりになるでしょう。連盟創設から過去3年間で多くの国会議員の方々と接点を持ちました！僅かな運転資金の中で組織強化と並行して渉外活動も行って参りました。その結果、自民党や公明党から「予算税制に関する懇談会」にもお声掛け頂けるようになったりました。今後は「臨床工学技士について考える議員連盟」の設立に向けて目標を掲げているところです。その実現に向けて活動を行うのは我々であったとしても、本心に重要なものは臨床工学技士一人一人の意識です。「一致団結」という言葉は若干抵抗を感じますので、「一体感」という言葉に置き



(理事長 肥田泰幸)

換えて臨床工学技士の未来を創造したいと考えております。何卒連盟活動にご理解頂きご協力を賜りたくお願い申し上げます。年頭所感とさせていただきます。本年は西年「幸せ西(とり)こむ」という意味を込めて各地で西の市が開催され、熊手が飛ぶように売れるとお聞きしました。平和と健康を願う気持ちは老若男女、万国共通の願いです。会員の皆様方が幸せを西こみ幸多き一年となります事心から祈念しております。

野田議員の特別講演

去る、十月二日、熊本市市民会館に於きまして、九州臨床工学会が開催されました。参加者数は八百五十六名でした。特別講演では、自由民主党 社会保障制度に関する特命委員会委員長 衆議院議員 野田毅先生に「医療・健康・福祉と臨床工学技士」と題してご講演賜りました。冒頭、社会保障制度に関する特命委員会委員長として、我が国の医療を巡る環境の変化、特に急速な少子高齢化、医療技術の高度化、これに伴う国民の医療サービスへの需要の多様化、消費税増税先送りの問題について述べられました。また、国民の医療に対する安心・信頼を確保し、質の高い医療サービスを提供するために提供できる体制を構築することが重要な課題であり、厚生労働省において、各医療従事者が高い専門性を発揮しつつ、業務を分担しながら互いに連携するチーム医療を推進しており、臨床工学技士については、医療機器の

みんなでやればきっと変わる！
会員数12月末現在
1021名

操作や管理等の業務に必要とされる知識・技術の専門性が高まる中、医療現場において果たしうる役割はますます大きくなると仰っていただきました。臨床工学技士制度ができて三十年、黙って頑張ってきたのかもしれないが、ちゃんと臨床工学技士が必要とされる根拠やデータを出し、社会的にも政治的にもアピールすることをしていただければ待遇は良くなるはずだと、日本臨床工学技士連盟と日本臨床工学技士会の両会が一丸となって頑張るようになって励ましの言葉をいただきました。野田先生には、熊本復興予算編成会議の忙しい中、講演賜りました。(九州理事 山田佳史)

新春座談会 「連盟の課題と今後の展望」

出席者

日本放射線技師連盟

監事（前理事長）

播間利光 様

日本臨床工学技士連盟

理事長 肥田泰幸

臨床工学技士連盟

広報部長 三井友成

日時：平成29年1月7日

場所：ホテル日航姫路

司会：みなさま明けましておめでとうございます。本日は新春座談会として、日本放射線技師連盟の監事（前理事長）、日本放射線技師会副会長、兵庫県放射線技師会会長を歴任された播間利光さんをお招きして、それぞれの立場から、厳しい医療業界における今後の展望をお聞かせ願いたいと思います。

司会：播間さんとは賀詞交換会などで何度かお話しする機会があり、「職能団体とは国民の皆様健康を守りする団体である」という

教えをいただきました。私はそれまでは自分の職域を確保する、地位の向上に尽力するのが

あると思っておりました、勿論それも大事ではあるのですが、もっと大きな視点で見られていることに感銘を受けた次第です。肥田さんとは、連盟立ち上げまもなくの頃、播磨さんを紹介したご縁がありました。それがきっかけとなり参議院選挙を協働するまで発展しましたので人との繋がりの大切さを改めて認識した次第であります。それでは本日はよろしくお願いたします。

Q：よく会員の方から会費払ったのだから会は何をしてくれるの？と聞かれると思うのですが

播間：本来は、会費があれば会が協力します」というスタンスなんです。悲しいかな我々は、医師の指示がないと動けない習慣が身につけていますから、能

動的な姿勢がなかなか芽生えてこない。本来は国民のために何か出来るのか？ということ

を各人が考えてくれれば、政治活動へも理解を示してくれると思うのですよね（一同納得）

Q：今後の就業者数の見通しを教えてくださいますか？

肥田：臨床工学技士（以下、臨工）の卒業生が毎年2千人強で40年働きますから、8万人以上の働き先が必要になります。現状の就業者は約3万強ですから2倍以上の働き先が必要となつてきます。今までは透析患者数の増加に合わせて技士数が増えてきたと言いますが言えますが、数年後には透析患者が減少に転じていきますので、新しい業務の獲得が必

要不可欠となつてきます。放技の方は、県庁や保健所に勤務している方もいらっしゃると思いますよね？

播間：厚労省には、診療放射線技師の勤務者はおられません。これからの重要課題だと考えています。兵庫県においては、県庁の医務課と疾病対策課、各地の健康福祉事務所、保健所にそれぞれ診療放射線技師が勤務しており、監査業務や許認可業務を担当しております。

肥田：すごいですね！臨工は、昨年厚労省にようやく1名が勤務したと伺っているだけです。県庁や保健所、さらには厚労省にも医療機器の専門化である臨工がいれば、費用を削減できよい装置が購入できる・・・となれるようにしていきたいと思えます。

Q：診療報酬獲得のため、どのようなアプローチが必要でしょうか？

播間：厚労省への要望を日本画像医療システム工業会といっしょに提出しています。よく言われるのが、患者や国にとって「有用なエビデンスがある」「メリットが偏らない」「金銭を削減できる」の3つです。国も厳しい財源の中でよりよいものに優先的に予算配分しようとしています。

肥田：臨工は、単独で出すのではなく、学会経由で要望書を提出しています。これでは、要望もなかなか聞き入れてもらえないのでしょうか？

播間：そうでしょうね。放技は、中医協にもメンバーを出したこともあり、職域の要望を聞いてくれる政治家の懇話会も設置が必要になります。要は優先順位ですから、医療費が半分になる技術があるなら別ですが、厚労省や中医協の委員会などで職域のメリット

播間：やはり、我々は公益という国から許可を頂いている団体ですので、行政との連携が必須なんです。賀詞交換会にも行政のトップが来てくれますし、顔

肥田：そうですね。国も厳しい財源の中でよりよいものに優先的に予算配分しようとしています。

北海道・東北地区理事より

平成27年に北海道・東北臨床工学技士連絡協議会より、地区担当の連盟理事に任命されました秋田県の熊谷誠（秋田赤十字病院）です。どうぞ宜しくお願いします。

今回あらためて連盟理事の活動をするにあたり「臨床工学技士連盟はなぜ必要なのか？」と私なりに考えてみました。臨床工学技士が誕生して30年が経過した現在、総合病院や透析クリニックの診療を支える上で、臨床工学技士が居なくてはならない存在に成長しました。また、それぞれの施設において臨床工学技士部門が確立されて、満足されている方も多いのではないのでしょうか。

しかし、現在の臨床工学技士に欠けていることを挙げるとすれば、唯一政治力がないことではないのでしょうか。それを一番感じたのは、臨床工学技士連盟として初めて昨年参議院選挙を経験した際に、我々の未熟さを随所で痛感したこととは逆に、医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師の各連盟では、診療報酬や法的な施設基準に人員の配置などを勝ち取るために、それぞれの職種の連盟と職能団体が一体となり投票へと繋ぎ、国会議員を当選させました。

これからの臨床工学技士を担う方々の将来を確固たるものにしていくために、連盟の活動を広く理解いただき、また連盟の活動にたくさんの方が参加していただけるように、微力ながら尽力いたしますので宜しくお願い申し上げます。





播間：昨年、診療放射線技師法改正に関する法律の一部改正が施行され、CT検査等での造影剤の注入、造影剤注入後の針の抜針・

肥田：そうですね！？顔の見える関係が重要ですよね。要望書を見た時にあの人の要望なら・・・という風になり、優先順位も必然的に上がりますよね。現状では、我々の団体は内輪でこうなったら良いという願望を述べているだけであって、制度を決める国の方では、多くの意見の1つとしても挙がっていないと言っていることになりませんか。

を説明する必要があると思います。説明するには、国会議員自らが職域代表として出席するのが一番ですが、そうでない場合は国会議員や役人の方々に我々のことを知ってもらう必要があります。

止血などの業務内容が拡大されました。これらの行為は、元々はグリーゾーンであったのですが、会員アンケートによる実態調査で「すでに多くの施設で実施されている実態がある」「患者の検査時間の短縮」「医師や看護師の負担軽減に寄与する」という誰もがメリットを享受できるという土台に政治活動がプラスして実現できたように思われます。

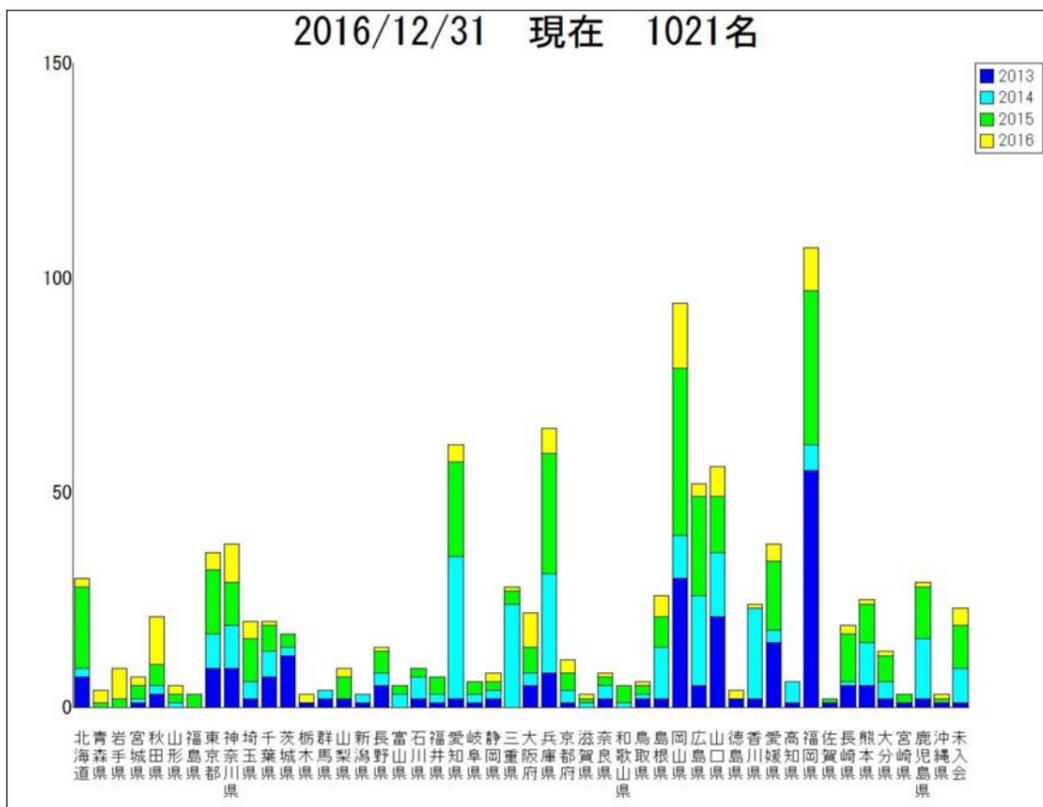
Q：少子化の影響で優秀な人材の確保が問題となってくるかと思われませんが、何か対策を実施されていますか？

播磨：放技として、養成校は4年以上とする決定をしました。そうでないと次代に即したカリキュラムが習得できなためです。

Q：先の参院選では、両連盟がタッグを組んで臨みましたが、敗因と今後の展開について教えてください。

肥田：選挙で戦う以上当選することが目的です。どこも選挙協力しても当選する団体でないと意味がありません。選挙協力によって有権者数が増え、得票数が伸びないのは、各組織とも組織力が不足していることを表しています。イメージ向上と政治に対する懐疑的な印象を払拭したいですね。主人公は自身であること。臨工を活かすも殺すも各々の意識次第であること伝えて行きたいです。

司会：本日は大変貴重なお話がたくさん聞けました。思い起こせば数年前、人のつながりで連盟理事長がめぐり合いました。それで選挙協力が実現いたしました。今後とも人の繋がりを大事にしてそれぞれの団体が発展していけばと思います。皆様、本日はありがとうございました。



年会費の変更について

昨年の日本臨床工学会以降、クレジットカード決済以外の会費徴収をコンビニ払い (SmartPit) へ変更いたしました。その際よりクレジットカード以外の年会費を3000円に増額しております。また、本年よりクレジットカード決済も2000円から3000円に変更させていただきます。

当会としても年会費の変更は苦渋の決断でしたが、活動が広域にわたるにつれ、現状の運営資金での活動が困難となってまいりました。会員の皆様にご迷惑をおかけしてしまったこと、深くお詫び申し上げます。

詳しくは、Webページをご確認ください

知ってましたか!?

日本睡眠学会の睡眠医療・認定委員会の認定事業実施に関する細則
http://jssr.jp/data/pdf/nintei_saisoku_2015_2.pdfの2ページ目後半に

☆学会認定検査技師の認定を受付けるための資格条件について
 規約の第4条の1)には、学会認定検査技師の認定を受けるための資格条件につき、医師、歯科医師、臨床検査技師、看護師等と規定されているが、その資格条件の“等”には

臨床工学技士を含めないこととする
 と明記されています

連盟では、このような案件に対して改善要求していきます。皆さんも同様のことをご存知でしたらお知らせください

政治家のパーティーとは？

政治パーティーと聞いただけで政治とお力ネ！と嫌悪感を抱く方は多くおられると思います。今回、政治団体が主催する政治資金パーティーに参加させていただく機会を得ましたのでご報告いたします。

政治には良く金がかかると言われるが、一人の国会議員には三名の公設秘書（公費）以外にも私設の秘書やスタッフ、地元選挙区の事務所や都内にも事務所を構えますので人件費や家賃などの多額な経費が必要となりま

す。これらの費用の多くは公費では賄えず、国会議員の持ち出しとなります。つまり、政治活動を行うためには、多額の資金（政治資金）が必要となります。

政治資金の調達には、
 ①寄付（献金）
 ②政党交付金
 ③政治資金パーティーの三種類あります。
 ①寄付は政党や政治家に企業や団体から献金（寄付）を行うことで、企業が政治家個人へ献金することが禁止されているほか、企業との癒着を防ぐため、

献金の上限額が厳しく規制されています。

②次に政党交付金は企業や団体からの献金を制限するかわりに、税金で政党の活動を助成し独立性を保つ形となっておりますが、国民一人あたり二百五十円のお金が議員数や得票数により政党に分配されるので選挙結果のいかんで大きく変化します。

③一方、政治資金パーティーは政治団体が資金を集めるために開催する有料のパーティーで政治団体以外が開催しても問題なく、寄付に変わる政治資金の調達手段のひとつとして、選挙前などは特に多く開催されます。



この政治資金パーティーですが、「・との懇親の集い」などという名称で連盟事務所に案内状が届きます。パーティー参加費の相場は一枚二万円の金額でパーティー券が売られ、都心のホテルで開催されます。六時開場、受付には国会議員、団体関係者、企業関係とあるだけで、個人の受付場所はありません。資金集めが目的のパーティーなので、事前に企業や団体がまとめて

購入しているために個人の受付は設けていないそうです。

パーティーは、通勤フツシュとまでは行きませんが人の多さに熱気がムンムン。五百名を超える参加者で、会場内に入りきれず立ち見ができる程の盛況振りで、開始早々、国歌斉唱に続いて乾杯前に大物閣僚や派閥幹部、元ニュースキヤスターなどが次々に挨拶されました。

乾杯の後は名刺交換と次回へつなげる挨拶のチャンスとなります。みんな高いチケットを買って遊びに来てくれるわけではなく情報交換を積み重ねることで信頼関係を確実に築いていく。つまり互いの利益を守るため、ギブアンドテイク！

見返りを求めず、好意的に続けることで、本当に必要な時に最大の効果が発揮できる。その最も有効な手段のひとつが政治パーティーなのかと実感しました。折角なので代議士にもご挨拶（写真）。印象良く日本臨床工学校士連盟としてパーティーに来ていたことを伝えました。
 （関東理事 関川智重）

血液浄化領域への臨床工学技士貢献と対価

臨床工学技士法が制定されて三十年、この間に業務の拡大とそれに伴った業務指針の改訂が行われた。臨床現場の需要から、年々その数は増え、二万人強の臨床工学技士が医療施設で活躍している。

今後、高度な医療機器が増え続ける限り、我々の需要は確実に存在するという考えがある。しかし、実際に雇用の受け皿となっていないのは実態調査でも血液浄化業務84%と圧倒的多数である。

この背景には、わが国における透析患者の増加があり、これに对应する形で臨床工学技士は、透析医療に貢献してきた。透析患者の長期予後や多くの学会発表から、臨床においても、臨床工学技士の実績は明白である。しかし、これらの貢献に対して、地位や需要の土台となる法改正が不十分だと感じている。

を受けたときに、現状では我々を守る法律は整っているとは言えない。我々を守る法律とは、雇用を確保できる法律である。例えば、看護師の7対1看護を模範として「透析患者7人に対して常勤の臨床工学技士を1名以上配置する」という基準を施設基準として設けた場合、臨床工学技士4万5千人以上という莫大な雇用需要を生むことになる。報酬や雇用需要を先行して述べたが、実際の臨床において治療件数や患者数によって十分な臨床工学技士が存在することに、手厚い医療ができるため、医療の質が向上すると考えられる。

内視鏡手術用支援機器加算などの施設基準に加えられた「常勤の臨床工学技士が1名以上配置されていること」の文言は、非常に大きな意味があった。診療報酬を基準に臨床工学技士の名前が明記されたためである。しかし、「常勤一名以上」のみでは、透析関連の需要が減り、養成校が増え

た現状としては受け皿として不十分である。最も臨床工学技士が貢献してきたのが血液浄化領域である。長年にわたる貢献に相応しい診療報酬や需要拡大のための法改正を実施することが、血液浄化領域の臨床工学技士が受け取るべき対価のひとつであろう。

医師、看護師などの医療職は、政治活動を行う連盟を早くから組織し、「更なる質の向上及び業務独占などの法改正の実現を図るため、活動を継続する」と公に謳っている。我々が政治活動を避け、他人事として受身でいる間は、他職種から取り残され、貢献に対する対価を受けることもできない。診療報酬を議論する場に、我々の声を届けるには政治活動もまた必要なのである。連盟は地位や待遇を向上させるための政治活動をを行っている。透析業務に携わる臨床工学技士ほどの割合に加入率が上がれば、地位、待遇、需要の向上に繋がることと思われる。
 （関東理事 安部貴之）